



## 鳥取県で野鳥及び野鳥の糞便から 低病原性鳥インフルエンザウイルスが検出！

鳥取県で採取された野鳥及び野鳥の糞便から、低病原性鳥インフルエンザウイルス（H7N7亜型、H5N1亜型）が検出されました。

また、韓国でも、野鳥の糞便から本病ウイルス（H5及びH7亜型）が確認されており、ウイルスの侵入リスクが高まっています。

農場への侵入を防止するため、裏面の発生予防対策の重要ポイントを参考に再度、家きん舎の点検をお願いします。

### 高病原性鳥インフルエンザ対策

#### 1 野生動物の侵入防止

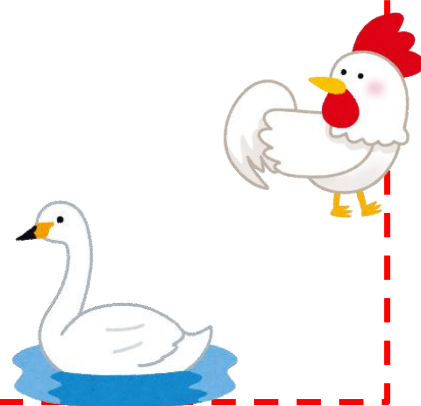
- ・野生動物が侵入し得る経路がないか、家きん舎を定期的に点検し、破損部位があればすぐに修理

#### 2 消毒の徹底

- ・家きん舎ごとに、衣服や靴を交換、消毒
- ・踏込消毒槽の消毒薬はこまめに交換

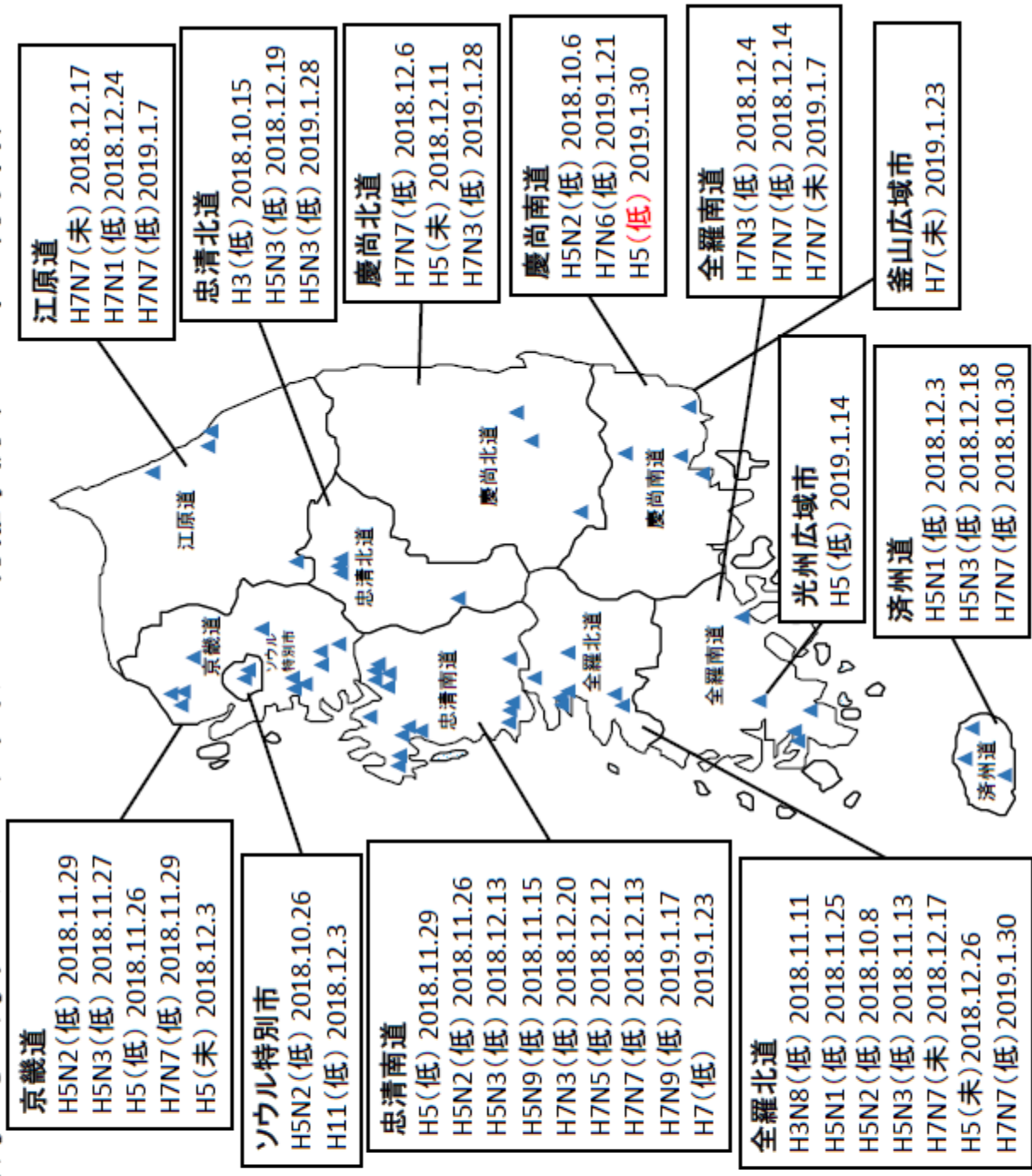
#### 3 部外者の立入り制限

- ・農場立入制限と記帳の徹底



飼養している家きんに異状がみられた場合には、直ちに獣医師または家畜保健衛生所に連絡ください。

# 韓国における野鳥からの鳥インフルエンザウイルスの分離事例（2018年10月以降）



地域	発生件数
京畿道	11
ソウル特別市	2
江原道	4
忠清北道	4
忠清南道	15
全羅北道	7
全羅南道	4
慶尚北道	3
慶尚南道	3
済州道	3
光州広域市	1
釜山広域市	1
計	58

2019年2月7日現在  
農林水産省動物衛生課

韓国農林畜産食品部  
プレスリリースをもとに作成  
※(未): 精密検査結果待ち  
※赤字は更新箇所  
※日付は最終採材日